

第2期苫小牧市役所エコオフィスプランの運用実績（平成27年度）

苫小牧市役所エコオフィスプラン（計画期間：平成27年度～31年度）に基づき、市役所全施設の事務・事業活動に伴う温室効果ガス排出量を公表します。

温室効果ガス排出量は58,824 t-CO₂となり、基準年度と比べると11.2%減少しました。

（1）温室効果ガス排出量について

排出区分別温室効果ガス排出量

排出区分	温室効果ガス排出量	27年度		31年度（目標値）	
	25年度（基準年度）	t-CO ₂	増減	t-CO ₂	増減
エネルギー起源 CO ₂	42,337	41,870	-1.1%	40,220	-5.0%
非エネルギー起源 CO ₂ *1	23,935	16,954	-29.2%	22,931	-4.2%
合計	66,272	58,824	-11.2%	63,151	-4.7%*2

※1 非エネルギー起源 CO₂は廃棄物燃焼による排出量です。

※2 目標値について、省エネ法でエネルギー消費原単位を毎年1%以上削減することが求められていることから、小数点以下を四捨五入し5%としています。

※ 電気のCO₂排出原単位は25年度（基準年度）の値を使用しています。なお、電気のCO₂排出原単位は1キロワット時の電気を発電したときのCO₂排出量であり、北海道電力㈱の値を使用しています。

<エネルギー起源 CO₂>

エネルギー起源 CO₂の排出量は基準年度と比べて1.1%減少しました。

主な要因としては設備の更新や設備運用方法の改善、LED照明の導入や蛍光管の間引き、また不要照明の消灯や暖房設定温度の適正化などの職員の節電・省エネへの取組が挙げられます。

<非エネルギー起源 CO₂>

非エネルギー起源 CO₂の排出量は、市が収集した焼却ごみに含まれるプラスチックの燃焼から発生したもので、基準年度と比べて29.2%減少しました。

主な要因として、平成25年7月から開始した家庭ごみ有料化により、分別の意識が高まりプラスチックごみの焼却量が減少したことが挙げられます。

